

政策 41 自然との共生

施策 01 豊かな自然環境と水資源の保全

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、自然環境	豊かな自然環境が保全されています。

施策の成果状況と評価

指標	自然環境に満足している市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【環境課】	%	88.0	-	87.9	→
評価	<p>(状況) 自然環境に満足している市民の割合は、「満足」3.9%、「やや満足」18.1%、「普通」65.9%の合計87.9%となり、前回の調査と比べてほぼ横ばいです。アンケート結果では、回答者1,243人うち無回答者は95人でした。実績値は、市のまち・ひと・しごと創生総合戦略の平成31年度目標値である90.0%に近づいています。</p> <p>(原因) 無回答者の割合をみると、20代から50代までが13人に対し、60代から80歳以上が79人と年齢が上がるほど無回答者が多くなり、自然環境の保全に対する関心の希薄化が想定されますが、全体的には、満足していると考えられます。</p>						目標達成度 ■■■ (高)

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 自然環境の保全

基本事項 02 放射能対策の推進

基本事項 03 農林地の保全

基本事項 04 人と環境にやさしい農業の推進

基本事項01 自然環境の保全

指標	BOD（生物化学的酸素要求量）基準値達成率 【環境課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき												
		%	100	100	100	100	→	(横ばい)											
評価	<p>(状況) BOD（生物化学的酸素要求量）基準値達成率は100%です。市の河川において県が設定するBODの基準値は、釈迦堂川水系がA類2.0以下、その他の川がB類3.0以下となっています。平成24年度には、測定値17地点のうち、釈迦堂川水系の稲川で1地点（釈迦堂川合流前地点2.2）、その他の川で下の川1地点（前田橋地点3.5）の計2地点が基準値を超えたことから88.2%の達成率でしたが、平成25年度以降は100%を達成しています。</p> <p>(原因) 環境に対する保全の意識が高まっているとともに、下水道の施設整備も進んできていることが要因と考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>BOD Compliance Rate (%)</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Compliance Rate (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>100</td></tr> <tr><td>H25</td><td>100</td></tr> <tr><td>H26</td><td>100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>					Year	Compliance Rate (%)	H24	100	H25	100	H26	100	H27	100	H28	100	(横ばい) 目標達成度 (達成)
		Year	Compliance Rate (%)																
H24	100																		
H25	100																		
H26	100																		
H27	100																		
H28	100																		

基本事項02 放射能対策の推進

指標	除染を実施（発注）した地区の割合（累計） 【原子力災害対策課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき												
		%	48.3	85.3	100	→	(向上)												
評価	<p>(状況) 除染を実施（発注）した地区の割合は100%です。除染実施計画で除染実施区域とした市内全域での除染作業が全て完了しました。</p> <p>(原因) 市内116行政区のうち、未了であった小塩江地区の一部、浜田地区、大東地区の17行政区で除染作業が完了しました。</p>	<table border="1"> <caption>Decontamination Implementation Rate (%)</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Implementation Rate (%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>48.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>85.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>100</td></tr> <tr><td>H27</td><td>100</td></tr> <tr><td>H28</td><td>100</td></tr> </tbody> </table>					Year	Implementation Rate (%)	H24	48.3	H25	85.3	H26	100	H27	100	H28	100	(向上) 目標達成度 (達成)
		Year	Implementation Rate (%)																
H24	48.3																		
H25	85.3																		
H26	100																		
H27	100																		
H28	100																		

基本事項03 農林地の保全

指標	多面的機能に取り組んでいる農用地面積 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき												
		ha	2,090	2,880	3,454	→	(向上)												
評価	<p>(状況) 多面的機能に取り組んでいる農用地面積は3,454haで、前年度と比べ574ha増加し、取組団体も7団体増加しています。平成24年度基準値の1,754haと比べても1,700ha増加しており、今後も増加することが予想されます。</p> <p>(原因) 地元説明会等により、農家の農用地の維持管理に対する意識が向上し、多面的機能に取り組む団体が増加しました。それに伴い取り組んでいる農用地面積も増加しました。</p>	<table border="1"> <caption>Agricultural Land Area (ha)</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Area (ha)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>2,090</td></tr> <tr><td>H25</td><td>2,880</td></tr> <tr><td>H26</td><td>3,454</td></tr> <tr><td>H27</td><td>3,454</td></tr> <tr><td>H28</td><td>3,454</td></tr> </tbody> </table>					Year	Area (ha)	H24	2,090	H25	2,880	H26	3,454	H27	3,454	H28	3,454	(向上) 目標達成度 (高)
		Year	Area (ha)																
H24	2,090																		
H25	2,880																		
H26	3,454																		
H27	3,454																		
H28	3,454																		

基本事項04 人と環境にやさしい農業の推進

指標	環境にやさしい農業に取り組んでいる農業者数 【農政課】	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき												
		人	1,396	687	674	(横ばい)													
評価	<p>(状況) 環境にやさしい農業に取り組んでいる農業者数（エコファーマー認定者数）は674人で、前年度に比べ13人減少しています。また、平成24年度基準値の1,526人と比べると、半数以下に減少しています。</p> <p>(原因) 平成28年度は、水稲3人、キュウリ14人が新たに認定者となりましたが、安積疏水土地改良区が行っていた水稲エコファーマー取得者に対する水利費軽減措置の廃止などにより認定者が大きく減少したと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>Number of Eco-Farmer Certified Farmers</caption> <thead> <tr><th>Year</th><th>Number of Farmers</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>1,396</td></tr> <tr><td>H25</td><td>687</td></tr> <tr><td>H26</td><td>674</td></tr> <tr><td>H27</td><td>674</td></tr> <tr><td>H28</td><td>674</td></tr> </tbody> </table>					Year	Number of Farmers	H24	1,396	H25	687	H26	674	H27	674	H28	674	(横ばい) 目標達成度 (中)
		Year	Number of Farmers																
H24	1,396																		
H25	687																		
H26	674																		
H27	674																		
H28	674																		

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01	自然環境の保全
基本事項 02	放射能対策の推進
基本事項 03	農林地の保全
基本事項 04	人と環境にやさしい農業の推進

基本事項04 人と環境にやさしい農業の推進

指標	環境にやさしい農業が実施されている農地面積	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき														
	【農政課】	ha	1,950	528	539	➔	🔄 (横ばい)														
評価	<p>(状況) 環境にやさしい農業が実施されている農地面積(エコファーマー栽培面積)は539haで、前年度と比べ11ha増加していますが、平成24年度基準値の2,097haと比べると1,558ha減少しています。</p> <p>(原因) 平成28年度は、栽培規模の大きい水稲及びキュウリ栽培複合農家が新たに認定されたため、前年度に比べて栽培面積が若干増加しましたが、安積疏水土地改良区が行っていた水稲エコファーマー取得者に対する水利費軽減措置の廃止などにより面積が大きく減少したと考えられます。</p>	<table border="1"> <caption>環境にやさしい農業が実施されている農地面積の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,950</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>539</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>目標値</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (ha)	H24	1,950	H25	2,000	H26	1,950	H27	528	H28	539	H29	目標値	目標 達成度
		年度	実績値 (ha)																		
H24	1,950																				
H25	2,000																				
H26	1,950																				
H27	528																				
H28	539																				
H29	目標値																				
							■ ■ ■ (中)														

政策 41 自然との共生

施策 02 環境学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	市民が環境の重要性を意識し、環境にやさしい活動に取り組んでいます。

施策の成果状況と評価

指標	環境活動平均実践項目数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【環境課】	項目	4.53	-	4.58	→
評価	(状況) 環境活動平均実践項目数は4.58項目です。環境に配慮した生活についての市民アンケートにおいて、11項目中、節電や節水、マイバック利用など、環境活動平均実践項目数(実際に取り組んでいる項目数)は4.58項目となっており、平成26年度調査の4.53項目に比べて横ばいとなっています。 (原因) 「生ごみ処理機の利用」、「エコマーク製品の選択」など実践している人の割合が20%未満の項目があるため、環境意識の啓発や環境学習の機会の拡大を図っていく必要があると考えられます。	(項目) 					(横ばい) 目標達成度 ---

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 環境意識の啓発

基本事項 02 各種環境学習の推進

基本事項01 環境意識の啓発

指標	地域における環境活動参加人数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき														
		【環境課】	人		-	22,243		→													
評価	<p>(状況) 地域における環境活動参加人数は延べ22,243人です。地域における環境活動としては、町内会・行政区ごとの環境美化活動などです。市が委嘱している市環境推進員の活動報告に基づいて、参加人員を把握しています。</p> <p>(原因) 今回が初めての参加人数の把握となり数値上の比較はできません。地区により活動内容及び参加人数にはばらつきが見られます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>環境活動参加人数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>22,243</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H24	0	H25	0	H26	0	H27	0	H28	22,243	H29	0	---
		年度	実績値 (人)																		
H24	0																				
H25	0																				
H26	0																				
H27	0																				
H28	22,243																				
H29	0																				
							<p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>														

基本事項02 各種環境学習の推進

指標	各種環境講座の延べ受講者数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき														
		【環境課】	人	1,236	1,054	950		→													
評価	<p>(状況) 各種環境講座の延べ受講者数は950人です。内訳は、市内小学校3年生から5年生を対象とする「菜の花プロジェクト環境学習」で454人、小学校4年生を対象とする「下水道出前講座」で432人、中学校1年生を対象とする「河川水質調査」で64人の参加がありました。</p> <p>(原因) 新規に環境講座を実施した学校がなかったことから、参加人数は横ばいとなっており、対象とする学年範囲の拡大や新講座の開設等、施策展開の拡大を図る必要があると考えられます。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>各種環境講座の延べ受講者数実績値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>1,236</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>1,054</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>950</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>950</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (人)	H24	1,236	H25	1,054	H26	950	H27	950	H28	950	H29	950	<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (中)</p>
		年度	実績値 (人)																		
H24	1,236																				
H25	1,054																				
H26	950																				
H27	950																				
H28	950																				
H29	950																				

政策 42 環境にやさしい社会づくりの推進

施策 01 低炭素社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
可燃ごみ、市管理施設	省エネルギー化、ごみ減量化により、Co2排出量が低減されています。

施策の成果状況と評価

指標	可燃ごみ最終処分量	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【環境課】	t	1,832	1,815	1,927	→
評価	<p>(状況) 可燃ごみ最終処分量(可燃ごみの焼却灰)は1,927トンで、前年度と比べ112トン増(106.2%)となっています。</p> <p>(原因) 市の可燃ごみの排出量は、前年度が家庭系17,442トン、事業系5,906トンの合計23,348トン、同じく平成28年度が家庭系17,172トン、事業系5,962トンの合計23,134トンであり、家庭系で270トンの減、事業系で56トンの増、合計214トン減(99.1%)と可燃ごみ処理量は減少していますが、管内可燃ごみ最終処分量が前年度比106.3%となり、指標値が増加しています。これは可燃ごみの中に不燃物が混入する等分別が徹底されていないため、可燃ごみ最終処分量が増加したと考えられます。</p>						目標達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 省資源・省エネルギーの推進

基本事項 02 ごみ減量化の推進

基本事項01 省資源・省エネルギーの推進

指標	二酸化炭素排出量増減率	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【環境課】	%	-3.9	4.1	-1.9	➔
評価	(状況) 二酸化炭素排出量増減率は、前年度と前々年度を比べた数値で、前年度は4.1ポイント増(排出量10,102t-co2)、平成28年度は1.9ポイント減(排出量9,907t-co2)で、195t-co2削減されました。 (原因) 東日本大震災後、庁舎機能が分散し、エネルギーの合理化が図られていないことと、すかがわエコ実行プランが機能しておらず、各施設へのエネルギー削減提案ができていないことが要因です。各施設ともその年の気象条件により、エネルギーの使用量が増減するため、その結果が二酸化炭素の数パーセントの増減となっています。						目標達成度 ---

基本事項02 ごみ減量化の推進

指標	市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標のうごき
		【環境課】	g	836	819	821	➔
評価	(状況) 市民一人1日当たりの可燃ごみ排出量は821gで、前年度に比べ2g増加しています。増減の内訳は、家庭系可燃ごみ2gの減少、事業系可燃ごみ4gの増加となっています。可燃ごみ排出量の内訳としては、家庭系可燃ごみ610g、事業系可燃ごみ211gとなっています。 (原因) 家庭系においては生ごみ、事業系においては紙ごみの減量化が十分に図られていなかったことが原因と考えます。						目標達成度 ■■■ (高)

政策 42 環境にやさしい社会づくりの推進

施策 02 循環型社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、行政、民間企業、資源	市民、行政、民間企業の連携により、資源循環型社会が実現しています。

施策の成果状況と評価

指標	リサイクル率（再資源化率）	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【環境課】	%	14.1	17.0	16.2	➔
評価	<p>（状況）リサイクル率（再資源化率）は16.2%で、目標値である14.8%を1.4ポイント上回っています。しかし、前年度と比べて0.8ポイント低下しています。</p> <p>（原因）事業系資源ごみ回収量は1,417tから1,348t、家庭系資源ごみ回収量は2,625tから2,473t、集団資源回収量は890tから783tと、すべて減少しています。市内スーパー等で、資源回収をしているところが増えているため、市や集団資源回収で収集する資源物が減少していることが要因と考えられます。</p>						目標 達成度

指標の動きのお天気マークは、総合計画時点の基準値との変化・状況を示しています。

指標の実績値の推移を示すグラフについては、目標値を設定する際に基準とした平成24年度からの数値を表記しておりますが、総合計画の計画期間は、平成25年度から平成29年度までです。

基本事項の成果状況と評価

基本事項 01 地域内資源循環型まちづくりの構築

基本事項 02 再生可能エネルギーの利用推進

基本事項01 地域内資源循環型まちづくりの構築

指標	リユース、リサイクルを意識して行動している市民の割合	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【環境課】	%	2.3	-	3.3	→
評 価	<p>(状況)リユース、リサイクルを意識して行動している市民の割合は3.3%で、前回の調査と比べると1.0ポイント向上しています。これは、「再生品やエコマーク商品を進んで選ぶようにしている」と「リユース品(中古品)等を購入し、再利用している(又は中古品を再利用にまわしている)」の両方を実践した市民の割合です。</p> <p>(原因)年代別で見ると、前回の調査で10%以上実践している年代は「リユース」で50代以下、「再生品」で50代以上でしたが、今回は「リユース」において、70~74才を除く全年代で10%以上の結果となり、リユースの実践している人が増えてきたため実績値が向上したと考えられます。</p>						

基本事項02 再生可能エネルギーの利用推進

指標	再生可能エネルギー発電装置Kw数	単位	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H29)	指標の うごき
		【環境課】	Kw	3,101.0	3,788.6	4,353.5	→
評 価	<p>(状況)再生可能エネルギー発電装置Kw数は4,353.5Kwです。太陽光発電装置Kw数は、前年度の3,788kwに対し、約565kw増加しましたが、年間の申請件数、設置出力ともに前年を下回っています。そのほか、HEMSが16件、蓄電池が8件の申請がありましたが、地中熱利用システムは実績がありませんでした。</p> <p>(原因)太陽光発電装置の件数の停滞については、震災需要による建替えが落ち着きを見せていること、相当の普及が図られてきたことなどが考えられますが、今後、戸建住宅におけるエネルギーゼロハウスの普及などにより一定の需要は維持される見込みです。</p>						